

ICTを活用することで期待される学習効果とは・・・

GIGA スクール構想でどのように ICT を活用すればよいか、イメージできますか？

12月17日の域内 ICT 研修会では、そのイメージをもってもらうために域内の取組を紹介しました。その一部を紹介します。参考にしてみてください。



問いを引き出すための問題提示
(檜原小学校)

A1 教師による教材の提示



画像の拡大提示や書き込み
音声 動画などの活用



ポイント確認のための
動画の視聴 (朝日小学校)



解決の見通しをもたせるための
資料提示 (荒海小学校)



インターネットを使った情報収集 (朝日小学校)

MESHを使った
プログラムづくり
(江川小学校)



PowerPoint を使った資料作成
(朝日小学校)



B1 個に応じた学習



一人一人の習熟の程度等
に応じた学習

B2 調査活動



インターネットを用いた情報収集、
写真や動画等による記録

B3 思考を深める学習



シュミレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習

B4 表現・制作



マルチメディアを用いた資料、
作品の制作

C1 発表や話し合い



グループや学級全体での
発表・話し合い

C2 協働での意見整理



複数の意見・考えを議論して
整理

C3 協働制作



グループでの分担、協働による
作品の制作



動画編集ソフトを使ったCMづくり
(江川小学校)

PowerPoint を使った発表
(朝日小学校)



電子黒板を使った話し合い
(館岩小学校)



タブレットを使った話し合い
(荒海小学校)

※詳しい取組が知りたい場合、実践校へ直接お問い合わせください。

取組の学習効果については以下のとおりです。

I 授業での ICT 活用場面の視点

- ☆「何のために活用するか」「子供たちにどのような資質・能力を身に付けさせたいか」を考えて使用する。
- ☆学習の道具の一つとして使用する。
- ☆「教師が」使う場面と「児童・生徒が」使う場面を区別して使用する。



II 期待される学習効果について

「教師による教材の提示」により、学習意欲を喚起するとともに学習への見通しをスムーズにもたせる。

A1 教師による教材の提示



画像の拡大提示や書き込み
音声 動画などの活用

- ☆ 視覚的に分かりやすくなる。
- ☆ 学習活動の焦点化、学習課題への理解を深める。

- ☆ 技能の習得、向上が図れる。

- ☆ 細かな観察情報による新たな気づきが期待できる。
- ☆ 情報を主体的に収集・判断する力を身に付けられる。

- ☆ 学習課題への関心の高まり、理解を深めることができる。
- ☆ 通常では難しい実験・試行が可能になる。

- ☆ 作品の表現技法の向上が図れる。
- ☆ 制作過程を振り返り、作品を通した活発な意見交換ができる。

「個別学習」を通して、学びの最適化が図れるとともに一人一人の情報活用能力を高める。

B1 個に応じた学習



一人一人の習熟の程度等に応じた学習

B2 調査活動



インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録

B3 思考を深める学習



シュミレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習

B4 表現・制作



マルチメディアを用いた資料、作品の制作

「協働学習」を通して、思考力・判断力・表現力等を高めたり、多面的・多角的な見方・考え方ができるようにしたりする。

C1 発表や話し合い



グループや学級全体での発表・話し合い

- ☆ 思考力や表現力を培う。多面的・多角的な見方・考え方に触れる。
- ☆ 新たな表現や考えへの気づきが期待できる。

C2 協働での意見整理



複数の意見・考えを議論して整理

- ☆ 活発な意見交換、思考の深まりが期待できる。
- ☆ グループ内の議論の深まり、学習課題に対する円滑な意見整理ができる。

C3 協働制作



グループでの分担、協働による作品の制作

- ☆ 他者の作業の進み具合や作品の全体像を意識できる。
- ☆ 豊かな表現力を身に付ける。

より深い学びへ

※個別学習【B5 家庭学習】・協働学習【C4 学校の壁を越えた学習】については省略

参考資料 文部科学省「教育の情報化に関する手引き（追補版）」より
栃木県真岡市「真岡の教育」 学校教育資料より